

図14 国立大学の運営費交付金の推移

○ 国立大学の運営費交付金は、この10年間で減少。

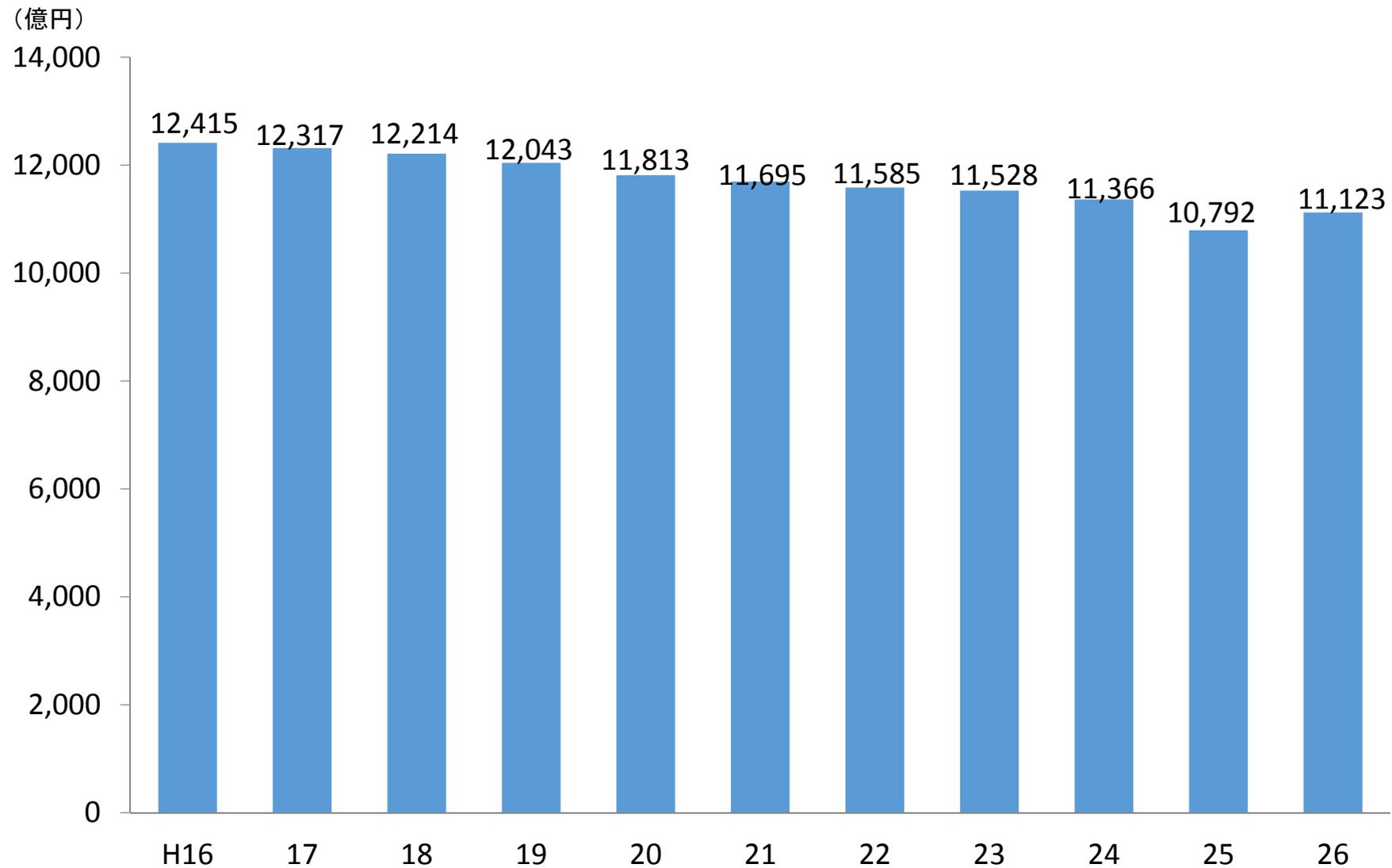
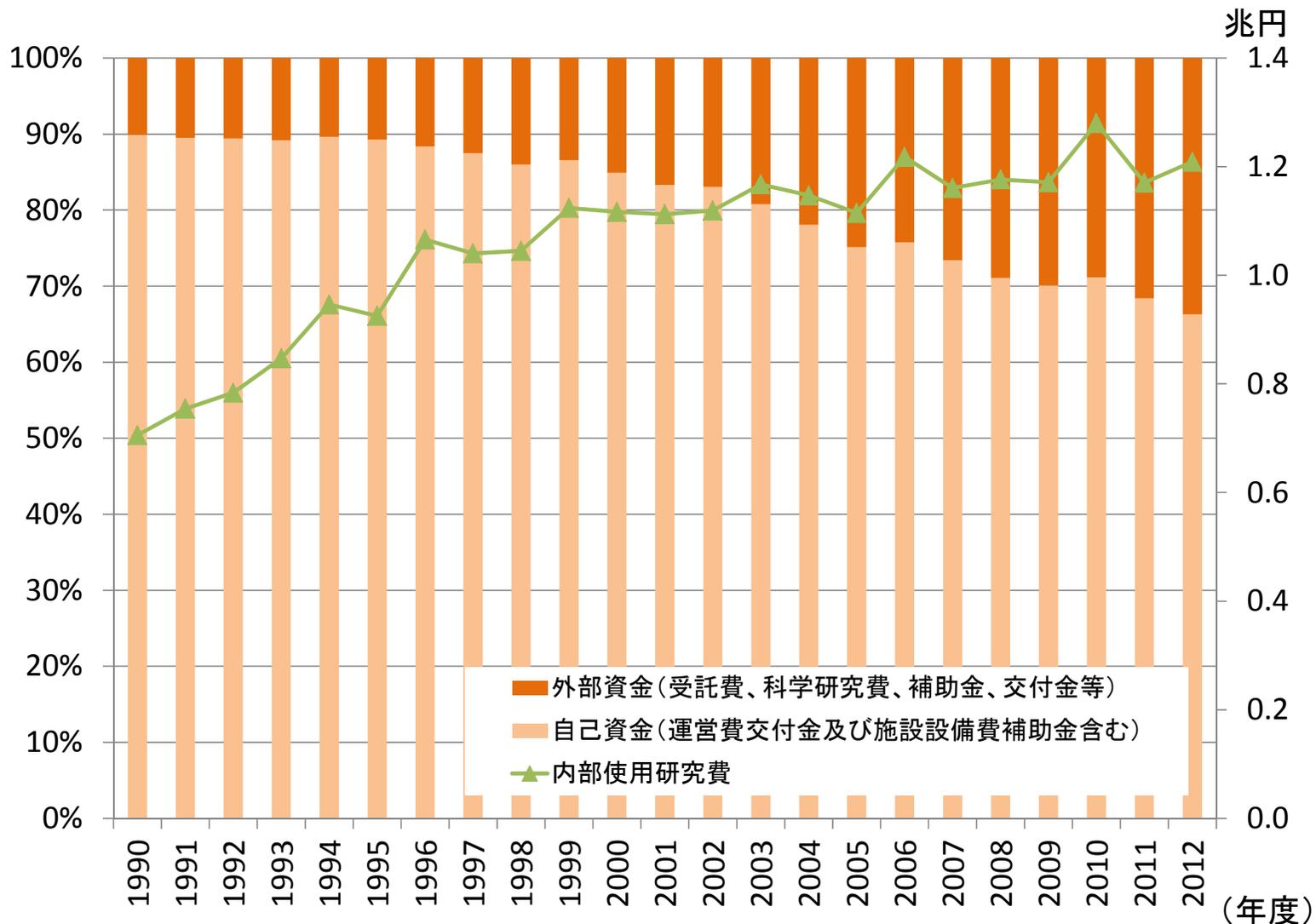


図15 国立大学等（自然科学）の内部使用研究費における自己資金及び外部資金割合の推移

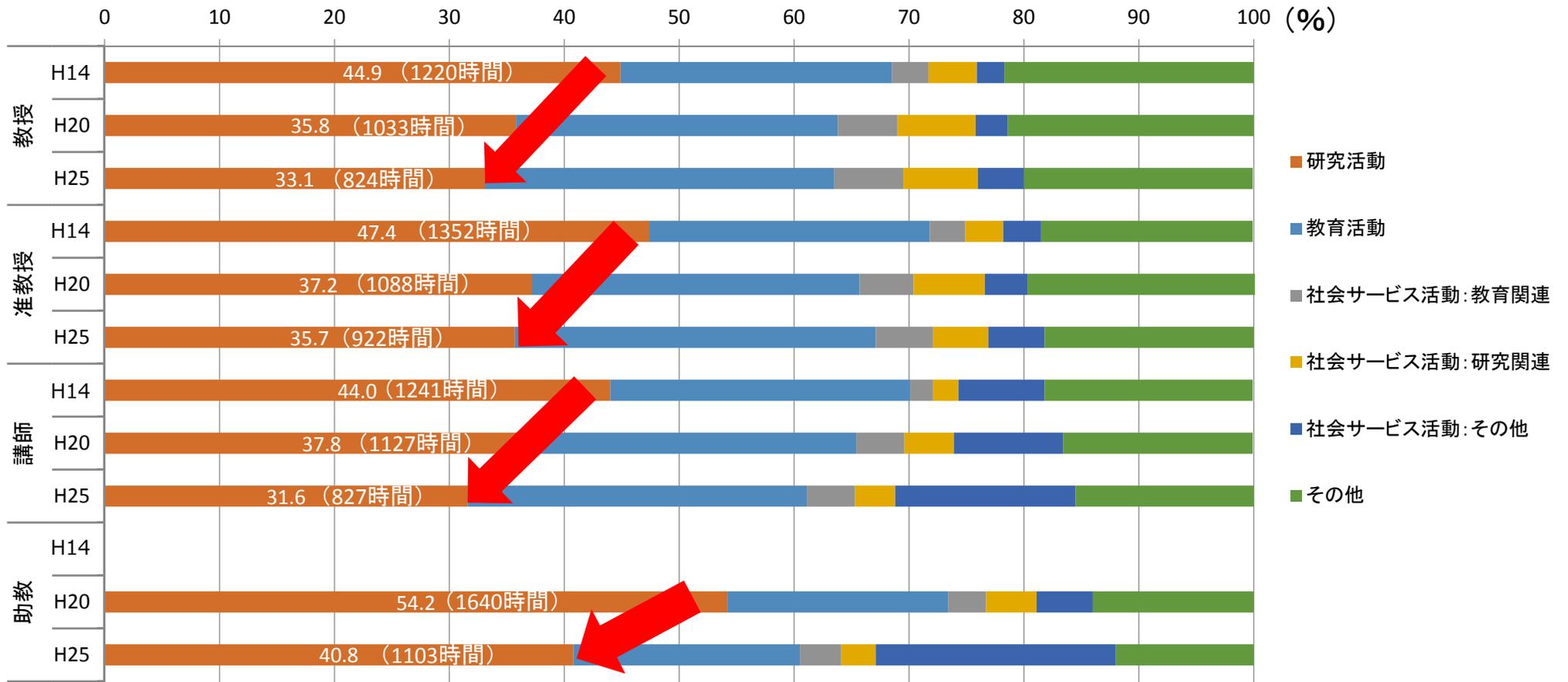
○ 国立大学等の研究費に占める外部資金の割合は年々増加している。



総務省「科学技術研究調査」に基づき科学技術・学術政策研究所において集計

図16 職位別・活動別年間平均職務時間割合（全大学）

○ 大学教員の研究時間、特に若手教員の研究時間が減少傾向にある。



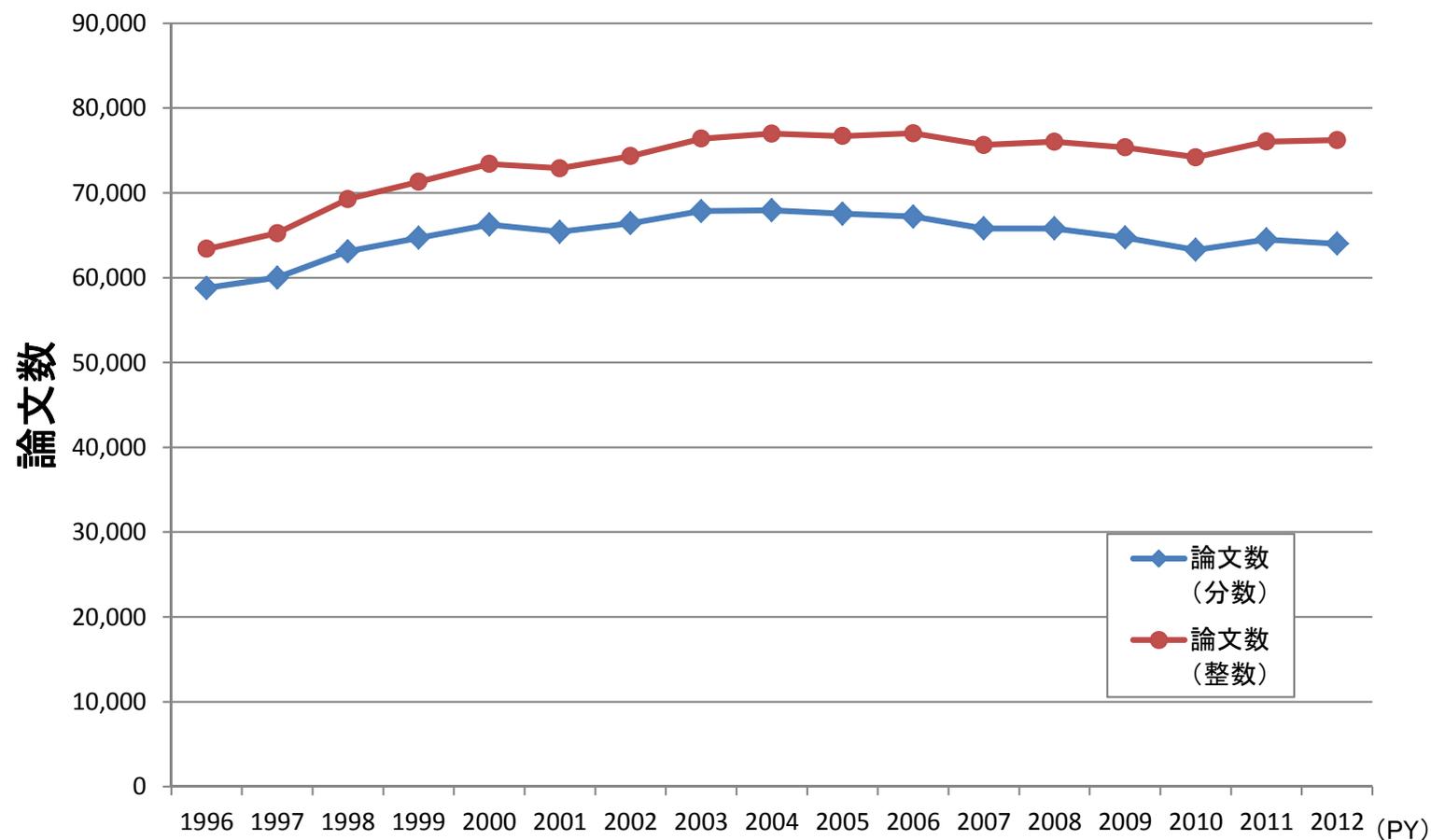
(注) 平成14年度及び平成20年度調査においては単純集計結果。
平成25年度調査では、各学問分野の標本抽出率の差を反映した重み付け集計結果。

参考データ

(文部科学省科学技術・学術審議会
総合政策特別委員会資料より抜粋)

我が国の論文数の推移

○我が国の論文数は整数カウント、分数カウントともに横ばい傾向。



※ Article, Reviewを分析対象とし、整数カウント、分数カウントにより分析。年は出版年である。

※ データベース収録の状況により単年の数値は揺れが大きいことに留意

※ トムソン・ロイター社Web of Scienceを基に、文部科学省科学技術・学術政策研究所が集計

出典：科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2014」調査資料-229（平成26年8月）を基に文部科学省作成